

の方も来てもらうなら、一歩進んで従業員とか友達も来てもらえるように考えていただけたらいいかなと私は思います。



橋本 R C : 最初にファミリー委員会として親睦委員会以外の交際メンバーされているところ

ありますか？と聞きれてやっぱり！ちょっと実は一瞬とまどったんですよ、実はファミリー委員会を立ち上げの要請の中で、親睦委員会と S A A 委員会と合同でやるという事で・・・ただ主になるのは親睦なんですけれども、S A A と今の所は共同でやっているという状況です。今年は家族例会というのは年に二回ぐらいあったんですけれどもクリスマスとか花見とかで、クリスマスは華やかでいいんですが、年末結構押し詰まって忙しい方もおられるので、今年度は正月の初例会を正月の初めだったら余裕あるんじゃないかと云う事で、今年は初例会を家族例会として、例会をもちろん例会場でやって例会の状況を家族の方に自分達はこういう例会を段取りしてやっているんだと、見てもらってそのうち懇親会にうつるという計画をしております。それと4月30日にうちの方で有名ですけど橋本の子安の地藏さんなので・・・お寺の観光客の花見のお客さんが帰るのを待って閉門後、ロータリーに全面開門してもらってライトアップされた花見（家族を呼んで）をします。それと物故会員の法要を家族を招いて慰霊祭と家族会をしたらわりと好評だったので、もう一度今年もファミリー委員会で段取りして物故会員の慰霊祭と家族のファミリー例会をやろうとして着々と計画しております。それとファミリー会を盛んにするひとつの意味は僕らなりの対策なんですけれども会員の状況と退会防止策の一つの目的であるんじゃないかと思っています。ファミリー会をやるのであれば家族の理解と次の人に知ってもらう為の目的にそったことでやろうと云う事でハイキングクラブを2年前立ち上げて年2回家族を含めたハイキングを行っております

す。今の所そういう状況です。

成川委員長：ありがとうございます。今法要の話が  
でましたが他のクラブでも物故会員の法  
要を何らかの形でやっておられる方はい  
ますか？



高野山RC：うちの場合は元会員の子供さんが全部メンバーになっていま  
すので、だからどうしても身内のことなのでやりにくく・・・だから  
当クラブではできないと思います。

成川委員長：ないですか？ やってるクラブもあるんですよ。例えば5周  
年ごとにですね。亡くなられた元会員になりますけども、息子  
さんが入ってる方もおられますが 他の人を呼んでクラブが主体に  
なってお寺で法要やっている所ありますか？それは5周年ごとに  
やってるんですか？

高野山RC：RCもちろん周年事業はやってますが・・・5周年・10周年  
と云うのはやっておりますけれども・・・それ以外はちょっとね

成川委員長：それでいいんですよ 周年のときに法要例会の方・・・ありま  
すか・・・

粉河RC：私どもの所は法要とかはやっていませんが今回初めてなんですけ  
ども、メンバーの奥様が亡くなられた命日に（お誕生日のお祝い  
代わりに）会長とお参りに行かせて頂いております。

成川委員長：中々今年の会長さん大変ですね！お誕生お祝いからそういう細  
やかな心遣い いいと思いますよ、ありがとうございます！

橋本紀ノ川 R C : 私共のクラブは基本概念と致しましてメンバーがロータリー活動をしていく上で家族の皆さんの理解がないと中々しづらいと云う事で、もともとが家族例会ですね今力を入れております毎年の恒例行事



と致しまして秋に、まったけ例会、今年は7月の初例会には紀ノ川沿いですのでそろそろ鮎も食べられるころだと云う事で初例会として鮎料理を楽しんでいただきました。これからの予定と致しましては、今年ちょっと年末に忘年会もむつかしいと云う状況ですので、新年の初例会を致しまして、これから鍋料理が美味しいございますから・・・今まで過去の鍋料理を囲んだ家族例会を見ますとカニ料理、クエがあり自分が親睦委員長をするにあたり何が残っているのか？ふぐが残っていた・・・今年は新年初例会と致しましてふぐ料理！まだこれは構想段階なのですが ふぐ料理を食べに行こうかなと考えております。もともとから家族例会に力を入れておりますのでメンバー数22名で家族例会となると、30名以上 35名位出席して頂けるんじゃないかと思っております。現在ではロータリーファミリー委員会の考えといたしましては退会者にも声をかけて理由も聞いておりますけれども 私自身 退会者は いろいろな理由があって辞められている中で果たして声をかけていいのかどうか今も悩んでおります 以上です。

成川委員長：退会者の方にですね その辺 皆さんどうですか？

粉河 R C : 一応全員に声をかけました やはり橋本紀ノ川 R C の方の言われた通りの事もありますけれども、この人に声をかけ、あの人に声をかけないという事は悪いので全員に声をかけました。事情があつて辞められた方や自然に辞めた方など色々ありますが・・・自然に途中で辞められた方などは行っても心よく迎えて頂いて話をしてくれました。又 嬉しかったと云う声も聞きましたので逆に

よかったなと思います。

成川委員長：まあ声かける場合は言いにくいですよ  
よね 実際 辞めた時の理由がありますよね  
色々やはり声をかける時は全員にかけないと仕方ないですよ。まあ深く考えないで  
もっと簡単に考えて！。年経ってきたらその人もわかってくれる  
かも知れないし、チャンスになるかも知れないので まあそう  
言う事で。一応 各クラブの方からロータリーファミリー  
活動いわゆる親睦活動がほとんどございました親睦活動をどんな  
形でやっていこうと云う事でございますけども。いわゆる社会  
奉仕活動、にロータリーファミリーを巻き込んだというような活  
動はないですか？



高野山RC：高野山の場合は 河川の掃除の時は家族のお子様とかを巻き込  
んでやっておりますけれど。

成川委員長：それは前からですか？

高野山RC：もう ずっとです

成川委員長：そうですか

橋本紀ノ川RC：うちの場合はですね。高野口で毎年歩行者天国が開かれる  
んですけども、その時に町のクラブとしては、麻薬撲滅キャンペ  
ーン活動を行っていると同時にバザーをいたしましてメンバーそれ  
ぞれが商品を提供いたしましてバザーをしております。その一部  
を麻薬撲滅キャンペーンに役立ってもらう、そういう企画をして  
おりますんですけど、その中で家族の方も参加して頂いております。

成川委員長：どうですか？他にそういう・・・

案外社会福祉活動には、従業員でご参加して頂いている方多いですね。



岩出RC：岩出なんですけども ずっと プール

例会と云うのを毎年・・・そういう時に もちろん親睦委員会だけじゃなしに今年も奥様方に朝から出て来て頂いておにぎりを作って頂いたり、皆協力やってもらってるんですよ。それで2月にはまた別の社会奉仕の委員会とこの親睦委員会で合同で身体障害者の方々を招待致しまして、ボーリング等を・・・そういうのを2月に計画はしてるんですが・・・それも家族の参加です。

成川委員長：岩出さんが言っているファミリー委員会に色々な目的があるんですね。今おっしゃった様な親睦活動委員会で会員の輪を作ってそれで一つの企画をやっていこうという・・・そして、それを段々広げていこうとする事が退会防止にも?がっているんです。けれども・・・この辺で亀岡さんご感想を！

亀岡パストガバナー：私が調べました ロータリーファミリーに関する調査結果をお話しておきますと地区は2630地区といいまして、これは岐阜県と三重県全域ですが ここがロータリー家族委員会、要するに親睦委員会に属してるところがあれば、特別にロータリーファミリー委員会を作っているクラブもあれば、あるいはクラブ奉仕の中で、やっている所もあれば、あるいはSAAの中に入っている所もあれば、あるいは社会奉仕と一緒にいる所もあれば、職業奉仕と一緒にいる所もあります。 やはり一番多いのは、新たにロータリー家族委員会を作ったのが約20%～25% 要するに2630地区・2640地区・2660地区・2760地区のこの4地区を平均してみると、新たに作ったのが約20～25%ほとんどが親睦奉仕の中に入っているというのが

現状です。かわったのが今言いましたように社会奉仕の中に、S A Aの中に入っているとか言うような所がありますけれども、こう云うのは特殊なものであると考えられます。そこで2630地区は



100%設置してます。2640地区は92.1%6クラブは設置しておりません。ここのIM4組は全部設置しておりますけれども設置していないところがある、それから2660地区は80.2% 2760地区は96.3%だからこんなもの必要ないよと云う所もあるわけですね。そこで次に先程から家族の情報というものについて例えば奥様方の誕生日には花束を贈呈しているとかというような事はございますけれども、皆さんに僕がちょっとお聞きしたいのは、その家族の誕生日奥さんなんかの配偶者の誕生日はよくお解かりでしょうけれども、例えば結婚記念日とかあるいは子供さんお孫さんの数というような、いわばファミリーに対する情報というものをだいたいクラブで把握しているかと云う事ですね。ところがそれを把握しているというのが、だいたい70%~80%位は把握しております。ところが20~30%は把握していないんですね、それから亡くなられたロータリアンの配偶者の追悼行事なんかを計画していますかと云う事に対して、先程追悼行事していますよ、という所もありましたけれども、これは非常に少ないです・・本当に少ない当地区ではクラブ中13クラブですやってると言う所は・・・・というと非常に少ないと云う事がわかります。それから特に物故会員の遺族に対してロータリーの行事に招く機会を設けたりあるいは熱心な週報を送っていますかと云う問いに対して、これも非常に少ない、やっている所は当地区ではクラブ中17クラブだから、会員に対しての取り扱いと云いますか、ご配慮と云いますか、これがどの地区も全部少ないです当地区だけではありません・・どの地区も非常に少ない、だから20%位というところじゃないかと思えます。例会に家族

を招いたりと言う事は皆さんおやりの事です。特に親睦会というものは、非常によくおやりになってあらゆる手を尽くして親睦されているという事はどこのクラブでもほとんど100%見られています。



ただ社会奉仕的なものクラブが社会奉仕をすると云う時に家族やそういう風な方を、一緒にやっているかと言いますとこれはね・・よくやってるんです。ところがデータにあまり出てこないといいますのは環境保全の方から例えますと家族と一緒にやっている、あるいは地域の人を巻き込んでやっているという風が多いわけです。だから実際問題としては、やっているんだけどデータには余り出てこないというのが現状ではないでしょうかと僕は思います。それからクラブの奉仕活動に対してロータアクトとかインターアクト、これを提唱しているクラブがこの内では高野山・橋本紀ノ川・橋本こういうような所は一緒に奉仕活動やったり、あるいは例会に来てもらったりという様な事は、やっていますね。僕がガバナーやりました時に橋本の方回らせていただきました・・そんな事も色々お話をさせて頂きましたけれどもいかがですか？

橋本RC：インターアクトとロータアクトは場合活動拠点は高野山にあり、  
ちょっと橋本とは交通アクセスの問題で遠いので・・・・

高野山RC：ご説明致します、インターアクトの方はよく一緒にやるんですけどもロータアクトの方が、先細りぎみです。二人しか・・  
それぐらいしかメンバーがいないのでロータアクトの方は見直そうかなという話もでておりますので・・インターアクトの方は高野山高校のインターアクトとかなんかとは一緒に活動なんかもさせても頂きますし、そこへロータアクトの二人がくるんですけども現実的には戦力としては、もうないのでどうしてもインター

アクトの方が大事になってしまいます

亀岡バスターガバナー：インターアクトとかはよく  
おやりになっているの分かりますけれど、  
その他ロータリーの学友とか、



あるいはGSEの帰ってきた学友あるいは青少年交換、こういう  
風な方達をロータリー家族として行事に参加してもらおうというよ  
うな事をおやりになっているか、どうかという事に対しては、こ  
れも割合どこの地区でも多いんですね。よく参加してもらって  
一緒にやっているというのが現状です。やはりそういう様な方達  
をロータリーファミリーとして一緒にやればいいんじゃないか  
なというような気が致します。その他に他の方からお話あるかと  
おもいますけども、案外会長賞もらう為には、ロータリーファミ  
リー委員会が必ずクラブになければならない、そのうちどうい  
う風な奉仕をしていなければならぬかと云う事もあろうかと思  
いますので、また皆さんがご存知であればいい訳なんですけども、  
そういう事も含めてひとつよろしくお願い致します。

成川委員長：ありがとうございます

若い会員がですね・・・ロータリー活動に使う時間とむこうであ  
れば、ボランティア活動が多いんでありますけれども・・・欧米人  
は家族に使う時間大切にするでしょう、だからロータリーばかり  
に時間使うと・・・だから会員が減るんじゃないかという考えがあ  
るんですよね、家族を入れて一緒にロータリー活動すれば家族と  
ともに過ごす時間も増えるかと、そういうねらいもあるわけです  
それは多少日本と違う日本でも最近、若い人と言うのは家族を大  
切にしますからどうしてもロータリーに入ってもロータリー活動  
に時間とられるのがいやがっている傾向もあるので、ロータリー  
ファミリー委員会の活動を考えていこうという事もあります。そ  
れでロータリーファミリー的な家族会社の方、あるいは地域の方

にロータリーファミリーの考えを広めて  
いって・・・何がみえますか？ どう云  
う目的 何が見えてきますかと話をしま  
したけれど、その辺についてご意見があ  
りましたら、お伺いしたいと思います。  
けれども今度逆に紀ノ川さんどうですか？  
ロータリーファミリー活動から見えてくるもの・・・



橋本紀ノ川 R C : う～ん 難しいですね。ちょっとその質問から外れるかも  
知れませんが、このロータリーファミリーをしていく上で  
先程 岩出さんでしたっけ・・・奥様お亡くなりになられたそうい  
う方が例会を出席・・・家族例会は難しいと言う話をされていまし  
たけれども、私共も別の意味で奥様がいらっしゃらないという会  
員がおられますが、粉河さんが奥様の誕生日に花束をさし上げる  
って非常に僕はいい事だと思うんです。けれども果たしてそう云  
う奥様がいらっしゃらないと云う、メンバーのことを考えますと  
私共のクラブとしましては 僕はやりたいんですけども、ロータ  
リーファミリーとしてやりたいんですけども、そういう意味で  
どう対処していいのか何かアドバイス等ありましたら頂きたいの  
ですが・・・

粉河 R C : 実は親睦の副委員長の岩田さんの奥さんが亡くなられて、非常に  
悲しい時に親睦副委員長として同じクラブで今年亡くなられた奥  
様の命日におまいりをして頂きました。岩田さんどういう感じ  
でしたか？

粉河 R C : 実は私の女房が8月29日に癌でなくなりましたんですけども、私  
はこういってはなんですけども・・・とにかく勇気を持ってと、  
メンバーの方々特に奥さん方にも励ましを頂きました。実は早速  
先だつての日帰りの家族会ですが、私の担当なものですのでバス

の中で慰安のカラオケとかそういった事の中で、できるだけそう云う事を抑えて勇気を持って、この間もやったわけなんですけれども、まあ辛いのは大変辛いです。おそらく言葉には出せないくらい壮絶な思いでおるんですけれども、これを思っておっても、自分のことですのでこう云う事を顔に出すとかえって、皆様にご迷惑になるかと云う事で・・・出来るだけ会へ何年か務められるだけ勇気を持って出来るだけ務めたい事と、一生懸命おもっております。それくらいしか思うことがないので・・・まあ 一生懸命がんばってやっております。



成川委員長：ありがとうございます まあそ云う思いやりを持つ必要ありますよね。みんな同じであれば、いいんだけどもそういう方もありますので、その辺配慮も必要ですよね。

橋本RCさんどうですか！

橋本RC：ファミリー活動を通じて見えてくるものって、僕は全体的な姿っていうかこれは他の方どう思っているか分かりませんが、私だけに限った感想は、実は橋本は韓国のコチュアンロータリークラブからの姉妹提携としてお互いに交流して今年は30周年でしたかな？姉妹提携30周年の交換と云う事で奥さんをつれて橋本から訪問しようと、うちの家内も初めて参加させて頂いたんですけれども、他のロータリアンの奥様方と朝晩一緒に行動するという初めての経験でしたが帰って来て非常に喜んでいました。その時ある程度のお付き合いもあったんですけれども・・・3泊4日の旅行の中で色々助けられたり気を配っていただいて非常にロータリーに対しての理解度と言うものが、これを機により高まって非常に